

令和6年度 市政に関する市民懇談会記録（三島公民館）

日 時 令和6年11月24日（日）14：00～

会 場 三島公民館 講座室

参加人数 47名

出席者 市長、企画部長、市民生活部長、  
企画政策課長、情報戦略担当（事務局）

テ ー マ 「みんなが幸せに生きられるまちにするにはどうしたらいい？」

《意見交換》

**参加者：**市は赤字の事業の廃止を進めているが、そもそも市の事業で黒字になるものはないのではないか。財源が厳しい中、新庁舎にコストをかける必要があるのか。財源確保のため、企業誘致や移住施策に力を入れてはどうか。

高齢者はスマートフォンの所持率が低く、デジタルの恩恵を受けられない人も多い。所持率が上がるよう、購入補助金やデジタル教室でサポートしてほしい。

**市 長：**全ての公共施設を必ずしも黒字にする必要はないと考えているが、毎年巨額の赤字を出している施設もある。明らかに使わない施設、時代にそぐわない施設、別のやり方を検討できるものなど、整理も必要。

新庁舎は、那須塩原市ができてからの約束事であり、必ず実施するもの。現庁舎を引き続き使用するとしても大規模改修が必要で莫大な費用がかかる。また、これ以上新庁舎建設が遅れれば、物価高騰の影響をさらに受ける。

企業誘致は一番力を入れたいものであり、さまざまな企業や関係者にアプローチをかけている。

情報発信のデジタル化については、「みるメール」や「市公式LINE」が普及しており、さらに迅速な発信をしていきたい。

**参加者：**自分の孫は軽度知的障害・身体障害があり、来年小学校に入学する。学校に介助士が配置できない場合、親が学校で介助しなくてはならない場合もあると説明を受けた。学校につきっきりでは仕事も難しくなり、非常に負担が大きい。

**市 長：**市では、国際医療福祉大学病院と連携して発達支援システムを導入しており、切れ目ない支援に力を入れている。問題に向き合い対応していきたい。

**参加者：**小学校の部活動地域移行の中で、キッズバンドができた。自宅で練習するにも楽器は高価で買うのが難しい。学校で使われていない楽器を地域で活用できる仕組みがあれば良いと思う。

**市 長：**学校や家庭にある不要な楽器を再利用するのは良いと思う。サーキュラーエコノミーやごみを出さない社会にもつながると思う。

**参加者：**高校生のこども医療費助成は、病院で支払いをしてから市役所で手続きをしなければならず、煩雑。小中学生と同様に現物支給にしてほしい。

新庁舎は維持費が高いものはやめてほしい。また、そのために税金を上げたりしな

いでほしい。

**市 長**：高校生の医療費の現物給付については今すぐできるものではないが、しっかり研究し、市民に負担がかからないようなものにしていきたい。

新庁舎建設は貯金（基金）があるので、増税は行わない。市民が集いやすい楽しいスペース、新しい名所としても機能するような庁舎を建設したい。

**参加者**：市内の主要道路などには防犯カメラがほとんどついていないが、犯罪の抑止になるので設置してほしい。

市はオーストリア（ドイツ語圏）の都市と姉妹都市だが、英語圏のこれから発展するような国とも姉妹都市になってはどうか。

**市 長**：防犯カメラの設置は費用面の負担が大きい、警察等と相談しながら検討していきたい。オーストリアはドイツ語圏だが、生徒との交流は英語で行っている。英語圏の国との交流については今後考えていきたい。

**参加者**：赤字の施設は即廃止ではなく、段階を踏んでいただきたい。

**市 長**：赤字だからすぐ廃止ではなく、民間事業の力も使ってよりよいものが作れないか、企業と一緒に何かできないかということも検討している。

**参加者**：新庁舎建設について、設計に隈研吾氏を選んだ理由は。隈氏の建築は、メンテナンスにかなり費用がかかっていると聞くと聞くと、負担を未来の市民にまで負わせることについてどう考えているのか。

**市 長**：新庁舎を建てるだけではなく、那須塩原駅周辺をもっと魅力的なエリアにして那須塩原らしさを体現していきたいと考えており、その空間に隈氏の建築は合うと感じている。新庁舎を建てるだけでなく、どう生かし活用するのか、市民とともに考えていきたいと思っている。

**参加者**：選挙の投票率が下がっている。移動式の期日前投票所など、投票率を上げる施策をしていただけないか。

**市 長**：投票率の低下は、人口が増加傾向の地域で見られる課題で、移動式投票所は過疎化している地域で効果が出る取り組み。投票率を上げるためにはどうすべきか、研究を行っていきたい。

**参加者**：地域で、高齢者同士の双方向の助け合いや見守り、ドア to ドアの買い物支援等の活動を行っている。持続可能な活動とするため、市から活動への補助をしていただけないか。活動に当たって、市の認証的なものがあると活動しやすいので、そのような制度を設けてほしい。

**市 長**：地域で共助の活動を行っていて素晴らしいと思う。こういった取り組みを地域でもっと増やしていただければと思う。ご要望の補助については、この場での回答は難しい。

**参加者**：気候変動対策を進めていく中で、市民に対して意識していること、市の職員に対して意識していることを伺いたい。

**市 長**：気候変動の取り組みは、市民が恩恵を感じられるところまで落とし込まなければ意味がないと考えている。環境への取り組みに関して、意識を持っている企業は価値

を見出してくれるので、気候変動対策をすることによって、企業誘致に繋がるというメリットがある。市の職員に対しては、環境政策の先進的な取り組みに関わることで、「やりがい」をもって仕事に取り組んでもらいたい。

**参加者**：自分はITの会社を経営しているが、働き手がなかなか見つからない。また、那須塩原市で起業するメリットがあまりないと感じるので、企業を「育てる」という視点も持ってもらいたい。

会社が入るテナントに適した物件がなくて困っているが、同様の経営者は多いと思うので、有料でもいいので市の赤字施設等の活用を検討いただけないか。

駅前の有料駐車場の不足について何とかならないか。

**市長**：創業支援の検討はしているところ。テナントに赤字施設を利用したいというニーズが分かったことは新しい発見。駅前の駐車場不足は悩ましいところである。

**参加者**：医療的ケア児や難病の子供たちの支援を行っており、子供ホスピスを作りたくて廃校の利用を検討しているが、手続きがなかなか進まず困っているので、お力添えをお願いしたい。

医療的ケア児等を毎日ケアしている家族や介護者が息抜きできる施設が県北にはないので、そちらも作りたいと考えている。

**市長**：廃校が人気の物件であり、いろいろなポテンシャルを秘めている施設だと再認識した。ケアの必要な子を持つ親の負担が大きく申し訳ないと感じている。引き続き、困っている方々をどう支援するのか考えていきたい。

**参加者**：「那須塩原市老人連合会」の名称を変えたい。「老人」という言葉のイメージが良くないので、変えられるようにしてほしい。

**市長**：担当に確認し、返答差し上げる。

**参加者**：ゆータクプラスの実証運行は利用者がかかなり少ないので、なぜ利用者が少ないのか、課題を市で把握して本格運行に移行してほしい。また、ゆータクプラスの利用者アンケートだけではサンプル数が少ないので、高齢者対象のアンケートも検討していただきたい

**市長**：公共交通、高齢者の移動手段については課題。公共交通施策は試行錯誤しており、その一つが「ゆータクプラス」。利用者が少ないことについては、原因究明を行い改善していきたい。公助と共助をうまく使って、より多くの方の足が不便にならないようにしたい。

**参加者**：那須塩原市では児童虐待が増えているか、また、どのような対策をしているか。

**市長**：全国的に虐待が増えている。虐待に対応するのは県の児童相談所で、市は直接的な権限がないが、市民に近いのは市なので県と連携して取り組んでいきたいと思っている。

**参加者**：このような会を開くより、市長に直接意見できる仕組み（メール等）があれば、そのほうが効率的ではないか。